

牛乳のストローレスパックへの切り替えについて

1 背景

大阪府から、学校給食用牛乳パックのストローレス化の方向性が示され、本市の牛乳供給事業者から切り替えについて申し出があり、環境面・SDGS の観点から、令和 6 年度 2 学期より全小中学校で「ストローレスパック」の運用を開始。

2 プラスチックストロー廃止による脱プラ効果

$23,000 \text{ 人} \times 190 \text{ 日/年} \times 0.5 \text{ g} = \text{約 } 2,200 \text{ kg/年}$

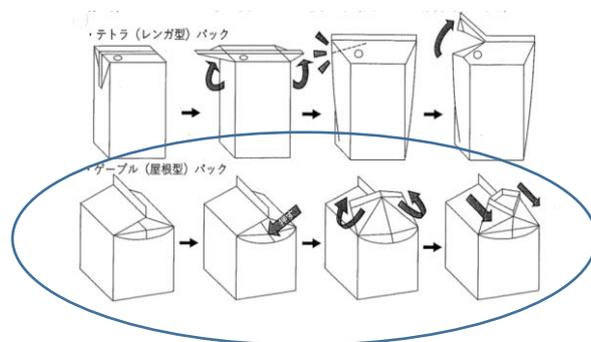
3 飲用方法

直飲み（屋根型の片方を開いて、そのまま飲む）

4 ストローレスパックへの切り替え時期

8 月 28 日から完全移行

但し、給食開始日 8 月 27 日の 1 日は、物流の事情により、新旧パックが各校で混在



5 指導用及び飲み方のパワーポイントについて (4 種を視聴予定)

指導用（音声あり）

- ① 環境への配慮に関するパワーポイント（5 分程度の予定）
- ② 家庭と学校との違いと飲み方に関するパワーポイント（動画入り）

掲示用

- ③-1 飲んだ後の処理の方法（基本）
- ③-2 飲んだ後の処理の方法（重度の乳アレルギー児童在籍クラス）

6 ストローレスパック切り替えに関する取り組み

- ① 指導用及び飲み方のパワーポイントの視聴（7 月、2 学期）
- ② 家庭向け文書の配付（7 月）
- ③ 水入りストローレスパックでの試行実施（7 月）
- ④ 指導用動画 2 種及び QA（裏面参照）を保健給食室ホームページに掲載（9 月）

ストローレス牛乳パックに関する Q&A

【ストローレス牛乳パックの飲み方】

Q. 直飲みをすることに変更はないのか

A. 直飲みに変更はない。

Q. 直飲みができない児童は、ストローを別に用意してもらえるのか

A. 環境への配慮・牛乳業者からのストローの供給が無くなることなどから、ストローは用意しない。

Q. 家庭の牛乳を直飲みする児童が出てくる可能性があるが、その懸念はないのか

A. 学校は飲み切る量であり衛生面に問題はない。しかし、家庭はそうではないのでコップを使用していること、また環境への配慮からストローは使用しないことなどを、指導内容に盛り込み啓発する。(指導内容は本市 HP で視聴可能。)

Q. 直飲みをすること自体、マナー的にどう考えるのか

A. 直飲みについては他府県及び大阪府内他自治体ではすでに実施しており、給食の牛乳を直飲みすることについても啓発する。

【乳アレルギー児童在籍クラスの対応】

Q. 乳アレルギー児童在籍クラスの飲み方も同じなのか

A. 乳アレルギー児童の在籍するクラスの児童に関しても、直飲みに変更はない。

Q. 開封時に牛乳が飛び散る、牛乳がこぼれるなどの不安があるので、ストローを継続して使用することはできないか

A. 環境への配慮・牛乳業者からのストローの供給が無くなることから、ストローは用意できないため、継続して使用することはできない。

【ストローレス牛乳パックの開始時期】

Q. 実際の開始時期はいつになるのか

A. 牛乳業者と調整した結果、令和 6 年 8 月 28 日 (水) より開始する。

【その他】

Q. ストローレス牛乳パックの形状は今後もこのままなのか

A. 現段階では製造している形に限りがあり牛乳会社が指定するものであるが、ストローレスパックの需要が増えていくと、他の形が開発されるなど種類が増えることも考えられる。市としてもより良いものになるように今後も働きかけを行う。